

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年4月11日

慢性非感染性疾患患者における不安とうつに関連する因子の解析：
COVID-19パンデミック中、エチオピア医療資源不足地域

【松崎雑感】

タバコ使用がメンタルヘルスを大きく悪化させていることが分かっています。今の世界に生きる人々にとっては、うつ状態、不安状態は極めて大きなメンタルヘルス問題です。日本もちろん、世界中の国で、すべての人々が、心細く、びくびくしながら、相手の顔色を窺って毎日暮らしています。でも、いろいろ心配するよりも、何とかなるだろうと悟って、今できることを淡々とやろうという心境に思い至ると、メンタルヘルスは結構改善します。タバコ使用（経験）のある人々は、なかなかこの「悟り」の心境にたどり着くことが難しいようです。今回紹介するエジプトのデータでも、やはりそうなんだ、と言う結果でした。タバコ使用をやめるのが、人生の彩（いろいろ）を鮮やかにするのではないのでしょうか。

松崎道幸 道北勤医協ながやま医院 matsuzaki-m@dohoku-kinikyo.or.jp

慢性非感染性疾患患者における不安とうつに関連する因子の解析： COVID-19パンデミック中、エチオピア医療資源不足地域

Mehari EA, Kidane RB, Areki MF, Seid AM, Gelaye AT. **The magnitude and associated factors of anxiety and depression among non-communicable chronic disease patients during COVID-19 pandemic in a resource-limited setting.** *Clin Epidemiol Glob Health*. 2023;21:101274.
doi:10.1016/j.cegh.2023.101274

目的

2021年のCOVID-19パンデミック中、エチオピア北西部のゴンダール大学総合専門病院の慢性疾患患者のメンタルヘルスに影響する因子を調査。

方法

2021年6月1日から8月30日の非感染性慢性疾患患者を対象とした。ランダムに400名を抽出。平均年齢51.8±0.8才。

結果

不安とうつ状態はそれぞれ17.9%と16.3%に見られた。うつ状態は：

女性 (調整オッズ比 = 2.56, 95% CI: 1.21, 5.41) 離婚歴 (3.42, 1.02-11.50) **現在あるいは過去喫煙者 (5.00, 1.66-14.90)**と有意に関連していた。

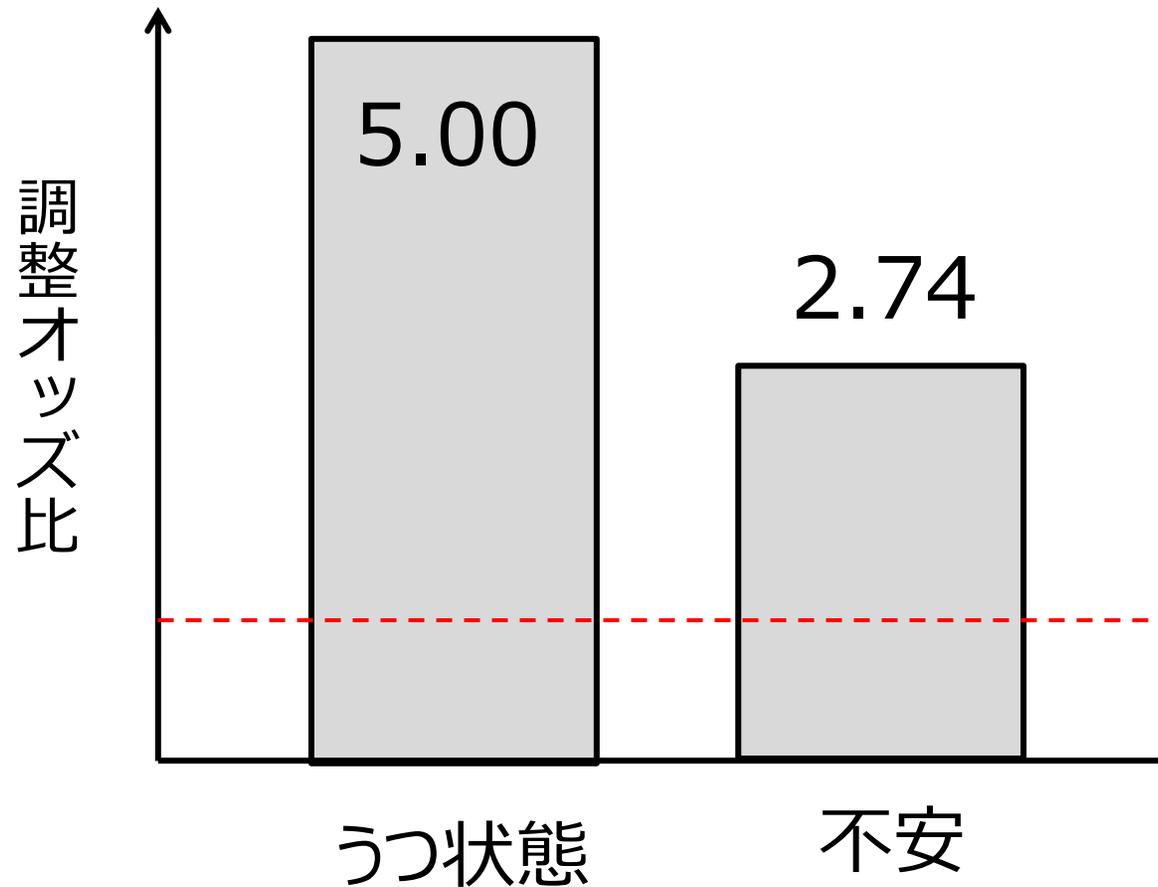
不安は：

現在あるいは過去喫煙者(2.74, 1.04, 7.21), 密接な関係を持つ人が多い* (1.16, 1.03, 1.31)、社会的サポートが不足している (2.98, 1.16, 7.65)と有意に関連していた (*密接な関係をもつひとがおおいほど、COVID-19に関する誤情報に多く曝露されるためであろう)。

結論

うつ状態と不安を訴える人々は多かった。日常の慢性非感染性疾患のケアに加えて、メンタルケアを適切に追加することが重要と考えられた。

コロナパンデミック中、現在あるいは過去喫煙者は、非喫煙者よりもうつ状態と不安が明らかに増加していた



非喫煙者を1とした既喫煙者（現在あるいは過去喫煙者）のうつ状態、不安出現率